

# 日本主義労働組合の結成に就て

## 親愛なる全従業員諸君に訴ふ

### ○日本主義労働運動の基綱

日本主義労働運動の基綱に就ては、既に、吾結成準備會は、その運動の根本精神を成すべき、鋼領並に趣意書を、親愛なる全従業員諸君に撒布し、これに依つて大略其の要旨を熟知し會得せられ得るものだに信じられるも愈々吾結成準備會も、熱烈なる同志諸君の協力に依つて、着々その進行を見、偉大なる日本主義労働組合の勇姿を顯はさんとして居る、最早眼前に押し迫つた、結成大會をめざして吾々は、更に、本主義に對する根本精神の徹底化を、現下勤勞大衆の眞の使命たる、即ち日本國情に即したる、労働組合の戦線統一此處に再び全従業員諸君に訴へんとするものである。

吾日本主義労働運動の眞髓、所謂究極の目的は、これを最も簡明卒直に示さば、全日本の産業人たる労働者、否全勤勞大衆をして、眞に、純眞なる日本精神の大旗の下に、一致團結せしむることである、即ち吾々日本主義労働運動のその基綱は、一つに國家的信念の上に置き、雄大にして尊嚴なる、我國独自の建國の本義に立脚し、確固不拔たる認識の上に立ち同志は、共に和衷協力の念を懷きて、然も勞資一体、眞に産業立國の本義を全ふせしむるにある。茲に我等が絶叫する、正しき日本主義労働運動の根源を、その大なる使命が存在するのである。

### ○誤される過去の労働運動

然るに見よ、從來の労働組合運動は、今更多言を要する迄もなく、その多くは、外來直譯の思想にカブレ、輕薄なる階級闘争を以て事足れりさせる反國家的運動であり、必然的産業破壊の具たらんと解されて來たのであるが、實に吾等は寒心に堪へざる所である。願ふに、是等労働團體のその多くは、社會民主主義的に指導され行動を起してゐるのであるが、その過程を一度繰く時、そこには、彼等得意の宣傳として、先づ合理化主義を唱へ、或は勞資協調だ或は温健着實労働階級權益の獲得だ、開放戦線の統一だ、立て労働者我等の陣營を死守せよ……と鳴物入りにも然も美言甘言のありたけを絶叫し來たのであるが、如何にせん勤勞大衆の嫌忌と必然的離脱を到底阻止し得るだけの力は得られなかつた。その原因何處にありや、最早今日の労働者諸君の頭上には、極めて簡明に點頭れる問題である。要するに、斯の如き労働團體のその組織の根本的要素、即ち指導理論は、余りにも祖國愛に燃ゆる日本精神とは遙かにかけはなれたものであつて、如何に美言甘言を弄するに雖も到底隠匿し得られぬ、所謂直譯萬能の一機關たる反國家的行動を、如實に表現した共産主義的團體であることは、是又多くの言葉を必要としない事實である、必然的大衆嫌忌の裡に、没落の過程を辿りつつあることを、當然に來るべき問題であること云はねばならぬ。

### ○日支事變に刺戟されて

然るに是等労働團體の中にも、最近に到つて、滿蒙問題其他日支事變の勃發に刺戟せられて、一部指導精神の急變せる團體の輩出を見ながら、依然としてその根本態度に於ては、社會民主主義乃至は準共産主義的殘滓を清算する能はず、あらゆる宣傳を、反國家的運動に狂奔しつつ、純良なる大衆を誤らしめんとしつつ、あるを、我等は斷じて見逃がしてはならぬ。

### 親愛なる全従業員諸君

我等は斯の如き現下労働組合の情勢を、將又未曾有の一大國難に到達せる渾沌たる社會情勢を鑑み、益々國民精神の普及を、國家産業の興隆を荷つて立つ、我等の任務の實大さを痛感せざるを得ないのである。

### ○國際關係に關して

更に我々日本主義労働組合の、國際的關係にいたつては、必ずや之れを否認するものではない、我々は日本の労働者の立場、進んで人類愛の立場から、矢張國際的平和を念願し、國際的に於ける労働階級の協力を衷心から熱望し上まざることは、今更言ふまでもない。